

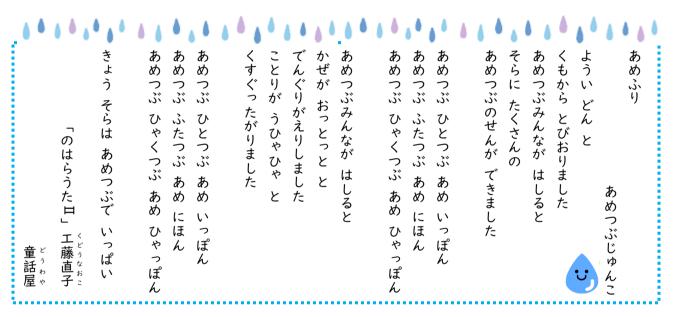
# 图書だより

令和5年6月 香川一中図書室発行

### がっきせっ ぼうしゅ げ し **多的は「芒種」から「夏至」へ**

「芒種」とは、稲や麦など穂の出る植物の種を撒くころのこと。「夏至」とは、「年で最も日が長く、夜が短いころのこと。6月はしっとり雨が降り、心身ともに安らかに過ごせる貴重な季節。夏至を過ぎるといよいよ夏本番です。夏に備えて、しっかり充電してみませんか。





### □今月のおすすめ本

## 『給食アンサンブル 2』 913/キ 如月かずさ/作 光村図書出版



部活動を辞めたことを引きずる慎吾、推しキャラへの想いに心乱れる朋華、熱くなれないたちの楓乃、吹奏楽部の改革に孤軍奮闘するたが、「いい人」しか取り柄のない三熊、長い片想いを続ける千秋。それぞれに迷いや悩みを抱えた6人の中学2年生たちが、給食をきっかけに自分の本当の気持ちに気づきます。おいしいだけじゃない、ごるを温め、背中を押してくれる給食。あなたにも思い出のメニューはありますか。『給食アンサンブルー(中学 | 年生編)』もあります。

#### だい かいせいしょうねんどくしょかんそうぶん かだ **②第69回青少年読書感想文 課題**







### 『スクラッチ』

913/ウ 歌代 朔/著 あかね書房



中学3年生、コロナ禍で「総体」が中止になったバレー部キャプテンの鈴音。美術部部長の千暁は出展予定の「市郡展」の審査がもゅうした。それでも出展作を描き続ける千暁のキャンバスに、鈴音が不注意から墨を飛ばしてしまい…。コロナ禍で黒く塗りつぶされたものう。そのなかで自分たちらしい生き方を掴み取っていくもゆうがくせいたちの、前向きにもがく姿を描いた物語です。

### 『アップステージ シャイなわたしが舞台に立つまで』

933/ア

ダイアナ・ハーモン・アシャー/作 武富博子/訳 評論社 シーラは自立つことが大きらいな女の子。そんなシーラが友だちに勧められミュージカルに参加することに。実はシーラは歌がうまく、カルテットのひとりに選ばれる。練習を重ねるうち、シーラはこのミュージカルを心から愛するようになる。ダレデモナイ子、と自分を例えていたシーラが、挑戦する勇気をふりしぼってたどり着いた本番の舞台。でもそこで更なる試練が…!ユーモアいっぱいの物語。

# 

517/ハ 長谷川敦/著 旬報社



首都圏を貫く荒川は、たび重なる洪水に見舞われた「荒ぶる川」。 これまで人の手で何度もつくり変えられてきました。この本では、 したびだ人々の生活を豊かにするための「利水」と、人々を水害から守るための「治水」の二方面から、分かりやすく解説しています。江戸をつくったのは家康じゃなく荒川だった?など、面白くてスイスイ読めます。

